

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山市地域交流センター
(2) 指定管理者	所在地 津山市新魚町17 名称 津山街づくり株式会社 代表者 代表取締役 菅田 茂
(3) 公の施設の所管部署	産業経済部経済政策課
(4) 指定期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日
(5) 評価対象期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	57,461人(前年度 73,898人)
(2) 事業の内容	・カルチャープラザ等運営事業 ・当該施設を利用した各種イベントの開催

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 41,277千円(前年度42,021千円) 利用料金収入 6,716千円 指定管理料 29,674千円 自主事業収入 4,887千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 40,911千円(前年度38,893千円) 主な支出 施設管理費(含人件費) 22,028千円 共益費 8,790千円 駐車場使用料 6,606千円 事業経費 3,487千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	<p>利用者の利用満足度を高めるための取り組みとして、随時、利用者とは直接面談を行い、利用回数を増加しやすくするための意見・要望を把握し、意見・要望に沿った改善を行っている。</p> <p>今年度は、催事等の利用スタッフ全員の駐車利用料金の全額を津山街づくり(株)が負担している。スタッフからは経費負担の軽減が図れるので、今後も利用を継続したいという意見が多い状況であった。</p>
(2) 指定管理者の自己評価	<p>利用者数は、いけばな展等の大型催事や夏休み特別企画事業等の開催が無かったため前年比22%減と大幅な減少となった。</p> <p>収入は、催事等の減少に伴い利用料収入が前年比6%減額、カルチャー受講者の減少に伴い自主事業収入が5%減額となった。</p> <p>また、支出は、利用促進の方策として利用スタッフ全員の駐車料金を全額負担したため駐車場使用料が253万円増加し、前年比5%の増額となった。結果として、収支状況は前年比88%の減額となった。</p> <p>今後も利用促進案内、施設PR等を強化するとともに、自主企画事業の拡充と共に館内の他の施設とも合同企画を組み、新たな利用形態の開拓も図っていく。</p>
(3) 市の評価	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用者数及び利用料金収入は減少しており、支出総額は増額となっているが、事業経費節減の努力により黒字計上を維持している状況であり、安定的な運営に寄与しているものと判断できる。 利用者数・利用料金収入の減少に対応するため、今後催事の誘致に注力する等、集客の増加、施設の有効活用を図るとともに、施設の特性を生かしつつ館内の他施設や周辺商店街等と連携した取組みを実施していただきたい。